

2012年 2月24・25日 東大受験生応援記 (南賢司)

[2月24日 12:45]

例年、前期試験を受験する東大文系の生徒を応援するために駒場校舎を訪れますが、昨年よりも早く今年は出発しました。ここ最近、「今まで訪れたことのない大学を巡ろう！ツアー」を個人的に実施しており、名古屋大学や九州大学などを訪れてきましたが、今回は東京医科歯科大学を訪れようと思い、身支度を早めたわけです。

東京医科歯科大学は「お茶の水」と呼ばれる地域にあり、東大の本郷キャンパスに近かったです。よく知らなかったのですが、終点が「東大構内」と書かれたバスが走っていて、その近さに驚きました(写真を撮ったのですが、「東大構内」の電光掲示文字は消えています)。本郷キャンパスにも寄っていいかな～とも思いましたが、時間がなくなりそうなのでやめました。

初めての東京医科歯科大学でしたが、面積が小さい割に迷路のように入り組んでいて、容易に購買部や食堂にたどり着けません。ちなみに私は、どの大学を訪れても、目的地を細かく調べて行くことはしません。構内を歩いている人に声をかけて、当地の人と少しでもコミュニケーションを取ろうと心がけています(当地の人にとっては迷惑かも知れませんが…)。出会った人が親切だったら、もうそれだけで「その大学に入りたいっ！」と思ってしまうよ(笑)。そんなこんなで3人ぐらいの人をはしごして購買部と食堂を探し出し、目当てのグッズを購入し、学食へ直行。なんと、東京医科歯科大学の夕方の食事スタイルはビュッフェ形式でした！好きなものを取り込み、ご飯は炊飯ジャーを開けて勝手に入れてねシステムです。好きなものだけを食べられる喜び…当然アジフライゲットでした。その後は、近くに順天堂大学と明治大学があったので寄って行きました。箱根駅伝の名門ですので。



東大構内まで行けるバス on お茶の水橋



東京医科歯科大学食堂での昼ご飯

[2月24日 19:00]

お茶の水地区での優雅な時間を終えて、いつも宿泊している渋谷のカプセルホテルに向かいます。毎年2月24日だけ泊まるメモリアルホテルです。でも、支配人はいつもの人と違い、私の感傷とは裏腹に無機質に手続きは進みます。なんか残念。そして、まだまだ19:00ぐらいです。ここは、近くの渋谷で滞在しているであろう北林先生に電話して何かをおごってもらおう♪ 意気揚々と電話をかけるも、六本木の東京ミッドタウンを巡っている模様。六本木は渋谷からは遠いのです。うーん難しいかー。ならば理系を応援に行く松下先生に連絡。「今からパソコンを買いに秋葉原に行くけど、来る？」という返事。30分かけて行くのは面倒でしたが、「秋葉原」には行って見たかったので、向かうことにしました(っていうか、わざわざ東京でパソコンを購入するアクティブさに感動ですよ)。ようやくJR秋葉原に到着しても、松下先生がいるであろうヨドバシカメラを探しあぐねます。どこを回っているのか分からなくなったので、いつも通り、道行く人に聞いてみようと思ひ、そこかしこにいらっしゃる「メイド」的な人にヨドバシカメラへの行き方を質問しました。非常に丁寧に答えてくれて、ありがとうと感謝を述べると、「行ってらっしゃいませ！」と見送ってくれました。条件反射のようにセリフが出てくる徹底ぶりにまた感動です。

結局、松下さんは無事パソコンを購入し、南は、松下さんにうなぎを無事おごってもらうことになりました。

[2月25日 7:50]

24日の夜、「雨がやんでいたらいいのにな〜」と思いながら就寝したわけですが、そんな私の願いもむなしく、ざーざーぶりの朝を迎えます。やや時間に遅れ気味だったので、ゴミをついばむカラス群に目もくれず小走りで渋谷駅へと向かい、7:50に駒場東大前に到着します。正門の一番近くにいるよとメールをくれていた北林さんのもとへ行こうと改札を出ると、「南先生！」と声をかけられます。かつての教え子が受験生の応援に来ていました。昨年も出会っていたので

1年ぶりです。すると、真後ろからまた教え子がやってきます。この教え子達と少し旧交を温める的な会話をしていたのですが、油断すると、この久々の雰囲気から何分でも話してしまいそうだったので早めに切り上げ北林さんのもとへ急ぎます。駅の階段を下り、正門前の広場に降り立った瞬間に昨年との違いに気づきます。受験生がほとんどいません。雨の影響が如実に出て、受験生でごったがえしているという状況ではなかったです。恐らく正門が早めに開門されていて、順次受験生が構内へ入っていったのだと思います(正門には 8:20 という時刻は書かれていましたが)。正門前を北林先生を探していると、懐かしの池谷先生に出会いました！細かいことは言えませんが、元気でぶりぶり働いている池谷先生の姿を見ることができて良かったです。その後、北林先生を見つけて、時間の許す限り教え子を探し、飴やチョコをあげつつ応援に集中しました。わざわざ遠い場所にいるのに私や北林先生のもとまでかけよって来てくれる子が多くて嬉しかったです。みんな良い子達です。そして、もうそろそろ教え子が来なくなるかなーと思っていると、前に立っていた受験生の子が急に振り返り、「申し訳ありませんが、少し私の手助けをして頂けないでしょうか？」と声をかけてきました。もちろん「いいですよ」と答えるわけですが、「僕がカバンの中から受験票を取り出す間、あなたが傘をさして僕を守ってもらえますか？」と言ってきました。傘をさして雨から守ってあげていると、無言の時間を埋めるためにいろいろとこの受験生の子が話してくれて、「お二人は関西から来たのですか、僕は東京です、いや細かく言うと神奈川県から来ました。名前は“オダ”と言います。…正門の前で受験票を出すというシステムは変えた方がいいですよ。こんな雨の日には無理があると思います。あっ、どうもありがとうございました」という知的なトークで間を埋めてくれました。短時間の会話でしたが、非常に聡明なことは伝わってきました。東大の合格発表に行くことは伝えたので、“オダ”くんが見事合格して、再び合格発表の掲示板で会いたいものです。

[2月25日 8:50]

約1時間の滞在の後、駒場東大前を後にして京大へ向かいました。京大の受験応援記は網干先生が寄稿してくれるはずですので、またそちらをご覧ください。

そして最後は、毎年恒例、北林先生の朝ご飯紹介。いつも新幹線の車内販売が来て、弁当やサンドイッチを購入しているはずなのに、ひそかに北林先生だけ品川の売店でお弁当を購入していたのです！

ひどいですよねー。確実に抜け駆けですわー。焼肉弁当を食べてもらう狙いがばれたのかもしれませんが(笑)。また来年への課題が残りました。



アジのお寿司と北林先生